

御挨拶

栃木県立わかさ特別支援学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本校は「とちぎ健康の森」の中に位置し、「栃木県立リハビリテーションセンター」に隣接する肢体不自由の特別支援学校で、今年度創立48年目を迎えました。

4月9日の入学式には、満開の桜が咲き誇るなか、小学部3名、中学部2名の新一年生を迎え、小学部21名、中学部4名、計25名の児童生徒が新しい学校生活をスタートしています。

さて、今年度は重点目標として以下の3点に取り組みます。

- 1 児童生徒一人一人がもつ力を引き出し、将来の生活につながる授業づくりを推進する。
- 2 本校の教育活動の理解啓発に努め、保護者や地域・関係機関との連携・協力体制を強化する。
- 3 児童生徒の実態や本校の特色に応じた、より安全な学習環境の整備・充実を図る。

今を懸命に生きる本校の子どもたちの、できていることや主体的な行動・発信を大切に捉え、将来を生き抜く力につながる指導を進めていきます。また、子どもたちを中心に据えて、学校、家庭、医療、福祉、地域社会等がバランス良く支えあい、より良い成長につながるよう連携を図ってまいります。そのためにも学校は、常に安全で安心な場所であることを目指し、学習環境の整備充実に取り組んでいきたいと考えております。

また、学校行事はもとより、学習活動や日常の様子など本校の子どもたちが生き生きと学校生活を送っている様子をホームページで御紹介し、「わかさ特別支援学校」を、そして「わかさ特別支援学校の子どもたち」を多くの方に知っていただきたいと考えております。この緑あふれ自然に恵まれた環境の中で、生き生きと学校生活を送っている子どもたちの笑顔や頑張る姿を、ぜひ応援していただけたら幸いに存じます。そして今年度も本校の子どもたちが、生活指標である「明るく元気に頑張る子」であり続けられるよう、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

栃木県立わかさ特別支援学校長 吉永 みどり